

## 施設紹介・活動紹介

### 東京医科大学八王子医療センター リハビリテーション部

#### 【診療科目】

循環器内科／神経内科／小児科／心臓血管外科／移植外科・一般外科／整形外科／脳神経外科／形成外科／腎臓内科／耳鼻咽喉科他，計 25 科

#### 【病床数】

総病床数 619 床(一般病床 581 床、第 3 次救命救急センター30 床、感染症病床 8 床)

#### 【リハビリテーション部 スタッフ構成】

PT 6 名 / OT 3 名 / ST 3 名 / 受付 1 名

#### 【施設基準】

脳血管疾患等リハビリテーション(I)・運動器リハビリテーション(I)・呼吸器リハビリテーション(I)

#### 【リハビリ処方割合】

平成 22 年の一年間では 1035 例の処方があり，内訳は脳血管疾患 47.5%，運動器疾患 38.7%，その他の疾患（呼吸器系をはじめとした内部疾患や外科手術後等）では 13.8%と，様々な疾患に対するリハビリを施行しています。

#### 【リハ部の特徴】

- ・病棟担当制を基本とし，医師や看護師と密な連携を図っています。
- ・整形外科と脳神経外科の回診に同行したり，病棟カンファレンスを定期的実施することで，医師・看護師・MSW と情報を共有しチームアプローチを行っています。
- ・隔週で行われる耳鼻咽喉科の嚥下回診に ST が同行し，情報共有を図っています。
- ・栄養サポートチーム (NST) 委員会・NST 回診チームに ST が参加しています。
- ・候頭摘出手術を受ける患者様と御家族に，代替発声手段（電気候頭・食道発声・シャント発声）をご紹介する「オオルリの会」を月 1 回開催しています。
- ・脳神経外科・神経内科を中心とした医師と看護師，MSW，リハビリ，薬剤部，栄養部，事務部が集まり，定期的に中枢神経疾患に対する勉強会を開催し，知識を共有する場を設けています。
- ・リハ部内においても，定期的に勉強会や症例検討会を開き，知識や技術の向上を目指しています。

#### 【各部門の特徴① 理学療法】

整形外科疾患では人工関節や脊椎疾患，骨折等の患者様に対し，術前より訓練を施行しています。中枢神経疾患では脳梗塞は翌日より開始し，脳出血では翌日～3 日程で訓練を開始しています。また，パーキンソン氏病等の慢性疾患や難病の患者様のリハビリも施行しています。呼吸リハは ICU より介入しております。

#### 【各部門の特徴② 作業療法】

中枢神経疾患・整形疾患を中心に，高次脳機能障害，神経筋疾患，手の外科等多様な疾患に伴う障害に対しての急性期作業療法を行っております。また，交通外傷による腱損傷・骨折に加え，神経損傷を併発しているケースや脊髄損傷に対する機能回復・ADL 訓練も行っています。

#### 【各部門の特徴③ 言語聴覚療法】

中枢神経疾患などの急性期リハに加え，当院では頭頸部癌の手術が多く，構音・嚥下・電気喉頭の訓練も多く行っております。また，嚥下造影検査(VF ; Videofluorography)に積極的に参加し，嚥下機能を評価・解析することで，得られた情報を治療に生かしています。外来では，言語発達遅滞や構音障害のお子さんの訓練も行っています。